

市立伊丹病院 新専門研修プログラム

どんな病院？

■理念と基本方針



◆基本方針

人権に配慮した医療を行います
最新の信頼される医療を提供します
市民の健康を総合的に守ります
安心を提供できる環境を整備します
健全な経営基盤の確立に努めます

◆患者として守られること

適正な医療を求めることができます
同意に基づく医療を求めることができます
医療情報の開示を求めることができます
個人情報の保護を求めることができます

◆患者として守るべきこと

同意した決まりを守ります
禁煙を遵守し癒しの環境を守ります
迷惑行為をしません

■人材育成理念

“想い”に寄り添い “想い”を伝える医療を目指して
One more step
～「一步前」に進めるために 自ら考え行動出来る人材～

■施設概要

■所在地

〒664-8540
兵庫県伊丹市昆陽池1丁目100番地
電話 072(777)3773 代表
FAX 072(781)9888 代表

■病床数 (内訳)

414床
ICU・CCU (5床)、NICU (10床)、無菌治療室 (2床)、外来化学療法室(14床)、人工透析 (10床)



医師数 **137**人 (H29.4)

手術件数 **3,783**件/年

救急外来患者数 **27.9**人/日

救急車搬送患者数 **9.8**人/日

※平成28年実績

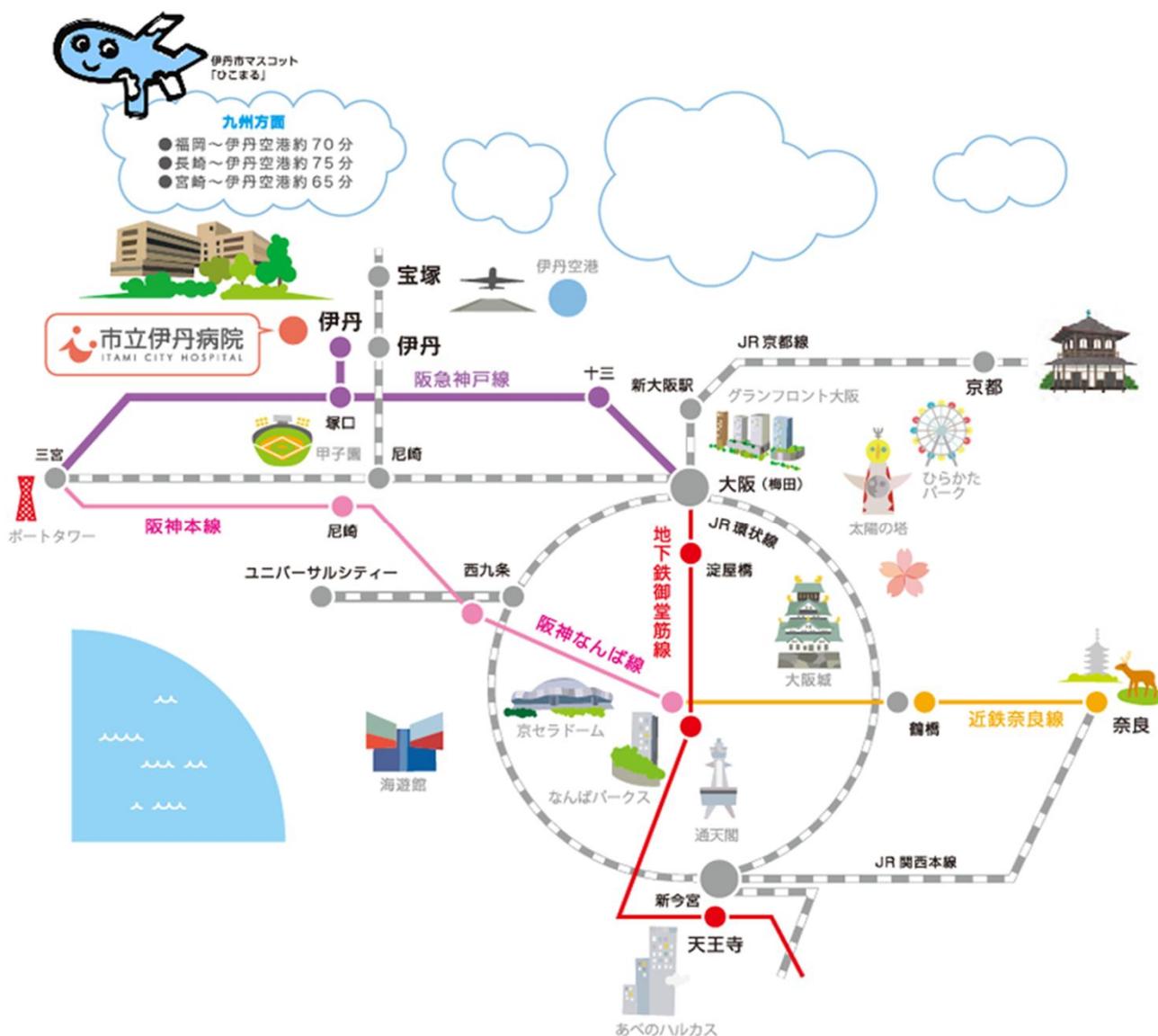
■診療科と医師数 (平成29年4月)

		正規	研修医 専攻医	非常勤	外来 応援	計
内科	消化器	8	4	0.8	0.5	13.3
	呼吸器	11	3			14.0
	循環器	4	1		0.6	5.6
	血液	5				5.0
	糖尿病他	4		0.8		4.8
	老年	2	1			3.0
	アレルギー疾患科 (人間ドック)	2	2			4.0
	(神経内科)				0.7	0.7
					0.3	0.3
	小計	36	11	1.6	2.1	50.7
精神科 (心療内科)					0.3	0.3
小児科		5	1	1.8	0.1	7.9
外科		7	2			9.0
呼吸器外科		2				2.0
乳腺外科		1			0.1	1.1
整形外科		8	3			11.0
脳神経外科		1				1.0
小児外科		0			0.1	0.1
皮膚科		1			0.2	1.2
形成外科		2				2.0
泌尿器科		3	1		0.1	4.1
産婦人科		7		0.7		7.7
眼科		2		1	0.4	3.4
耳鼻咽喉科					0.5	0.5
放射線診断科・放射線治療科		5	1		0.3	6.3
歯科口腔外科		3				3.0
麻酔科		4		0.8	0.8	5.6
病理診断科		1		0.8	0.2	2.0
事業管理者		1	-	-	-	1.0
合計 (臨床研修医を除く)		89	19	6.7	5.2	119.9
前期研修医(歯科含む)		-	17	-	-	17.0
合計 (臨床研修医を含む)		89	36	6.7	5.2	136.9

■ 施設も人材もますます充実！ 最近のTopics

平成22年4月1日	呼吸器外科 を新規で標榜！	平成26年4月1日	病理診断科 を新規で標榜！
平成22年9月3日	兵庫県指定がん診療連携拠点病院 の指定を受けました！！		OP室2室 を増設！合計7室に！ 糖尿病センター オープン！
平成23年4月1日	老年内科 を新規で標榜！	平成26年11月13日	全国公立病院連盟総会 平成26年度 全国公立病院優良病院 表彰！！
平成23年11月9日	地域医療支援病院 の承認を受けました！	平成27年4月1日	市立伊丹病院・宝塚市立病院における産婦人科連携スタート！ 乳腺外科 を新規で標榜！
平成24年4月1日	アレルギー疾患リウマチ科 を新規で標榜！	平成28年4月1日	臨床研修医の定員を 7名 に増員！
平成24年8月1日	新医局棟 オープン！	平成29年4月1日	臨床研修医の定員を 10名 に増員！ 放射線科を 放射線診断科 と 放射線治療科 に再編成
平成25年1月7日	内視鏡センター オープン！		呼吸器アレルギー診療センター オープン！
平成25年1月18日	日本医療機能評価機構の認定 を受けました！		
平成25年4月1日	人工関節センター オープン！		
平成25年7月4日	形成外科 を新規で標榜！		

■ ACCESS



市立伊丹病院の専門医研修

■ 特徴

- 各科の枠を超えた緊密な連携のもとに幅広い臨床医学の研修ができる。
- 基本的な診断・治療への柔軟で偏りのない思考過程を習得できる。
- プライマリ・ケアの基本的な臨床能力（態度・知識・技術）を身につけることができる。
- 専門的医療も指導者の緊密な指導のもとで研修できる。
- 上級医の指導を受け、学会発表ができる。
- 適度な規模の病院で、急性期医療と高度医療の臨床経験を積むことができる。

■ 研修目標

- 当院の研修では、生涯にわたり自己研鑽し良質な医療を提供する医師としての素養を身につけ、人権に配慮し患者中心のチーム医療を実践し、説明責任を果たせる医師の育成を目標としています。

■ 定員

- 各診療科 若干名

■ 各診療科のプログラム

- 【当院が**基幹施設**として研修を実施するプログラム】（予定）
内科領域 伊丹Terra昆陽プログラム
整形外科領域 阪神播磨整形外科専門研修プログラム
- 【当院が**連携施設**として研修を実施するプログラム】（予定）
内科領域
小児科領域
外科領域
整形外科領域
脳神経外科領域
泌尿器科領域
産婦人科領域
皮膚科領域
形成外科領域
眼科領域
麻酔科領域
放射線科領域
病理領域

（各プログラムは、日本専門医機構へ届け出中です。）

■ 先輩研修医からのおススメPoint

- 救急搬送も非常に多く、1次2次とも救急症例が豊富！
- 熱心な指導医のもと手技の習熟を図れる。
- 各科の垣根が低く、困った時に誰にでもコンサルトできる。
- 救急カンファレンスでは、研修医が多くの症例を発表し、プレゼンテーション能力を磨ける。上級医の先生からの助言により、自分のいたらなかった点を反省することも多い。
- 院内のローソンはめっちゃ便利！！

■ 学会専門医制度施設認定

日本内科学会認定医制度教育病院
日本消化器病学会専門医制度認定施設
日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
日本消化管学会胃腸科指導施設
日本肝臓学会関連施設
日本呼吸器学会専門医制度認定施設
日本血液学会認定血液研修施設
日本輸血細胞治療学会認定医制度指定施設
日本糖尿病学会認定教育施設
日本高血圧学会認定施設
日本老年医学会認定施設
日本アレルギー学会認定教育施設
日本リウマチ学会認定教育施設
日本循環器学会専門医制度研修施設
日本小児科学会専門医制度研修施設
日本外科学会外科専門医制度修練施設
日本消化器外科学会専門医制度指定修練施設
日本呼吸器外科学会専門医制度関連施設
日本胸部外科学会教育施設
日本乳癌学会専門医制度認定施設
日本整形外科学会専門医制度研修施設
日本脳神経外科学会研修施設

日本皮膚科学会専門医制度研修施設
日本泌尿器科学会専門医教育施設
日本透析医学会専門医制度認定施設
日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
日本眼科学会専門医制度研修施設
日本口腔外科学会専門医制度研修施設
日本麻酔科学会認定病院
日本医学放射線学会専門医修練協力機関
日本病理学会病理専門医制度登録施設
日本臨床細胞学会認定施設
日本がん治療認定医機構認定研修施設
日本臨床腫瘍学会専門医制度研修施設
日本緩和医療学会認定研修施設
日本超音波医学会専門医研修施設
日本人間ドック学会専門医制度研修関連施設
母体保護法指定医師研修医療機関
日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設
兵庫さい帯血バンク採取医療機関
日本栄養療法NST稼動施設
日本静脈経腸栄養学会 NST稼動施設
日本乳房ワップラステックジャー学会 インプラント実施施設
日本乳房ワップラステックジャー学会 イキソング-実施施設

まずは、病院見学へ！



WEBから
申込



You got a mail

日程確認メール
が届く



見学

■ 申込方法

- 1 WEBから申込
- 2 指導医と日程を調整してお返事します。
- 3 当日は、2階総務課へお越しください。
【持ち物】白衣&大学の名札

WEB申請はこちらから！



■ 早朝勉強会も見学できます！

朝8時から実施している早朝勉強会の見学も可能です。
見学申込時にご希望をお知らせください。
金曜日 全診療科合同救急カンファ
(3週目のみキャンサーボード)

■専攻医 募集要項

目的	臨床医学・医療の広い知識・技能からさらに専門的な医療を習得し、優れた臨床医を目指すことを目的とする。
応募資格	医師免許を有し、医師臨床研修制度における2年間の臨床研修を修了もしくは修了見込みの者。（当院研修医、大学推薦医、公募）
身分・人数	専攻医（非常勤嘱託員）、各科若干名
研修期間	研修期間は臨床研修終了後より3年間を限度とし、1年毎に更新する。院外研修も可能。3年後正規職員への任用の可能性あり。
待遇	参考年収 卒後3年：985万円、卒後4年：1,040万円、卒後5年：1,070万円
	上記は、月4回の当直料を含む。（当直料、超過勤務手当は常勤医師と同じ）
健康保険等	健康保険、厚生年金、雇用保険あり
募集期間	随時募集中

■モデル給与（専攻医1年目）

	月額	年間	備考
給与	345,000	4,140,000	
医師特別調整手当	50,000	600,000	
期末勤勉手当		1,073,000	採用月によって割落しがあります。
当直手当	207,200	2,486,000	当直月4回の場合
夜勤手当（当直時）	8,693	104,000	
救急当直加算	60,000	720,000	当直時に対応した患者数によって加算があります。
超過勤務手当	108,640	1,304,000	月40時間で試算
計	779,533	10,427,000	

当直を実施している診療科では、救急外来・病棟管理またはICU当直が、月4回程度あります。当直明けは、原則休みです。

■学会活動支援

各種学会活動を支援するため、旅費と参加費の補助を行っています。

■他院ローテーション中の処遇について

新専門医プログラムは、3年間で複数の病院をローテーションする場合があります。給与等の処遇は、ローテーション中の病院の処遇が適用されます。



先輩研修医 & 指導医
インタビュー



■ 消化器内科 医長 堀木先生

市立伊丹病院の特徴は？

市立伊丹病院は伊丹市において最も大規模な急性期病院であり、地域中核病院として初期診療から高度専門医療まで幅広いニーズに応えているという特徴があります。病床数に比べて専門科が多く、内科も呼吸器・循環器・消化器・血液・糖尿・老年・アレルギーにそれぞれ専門医が配属されており、専門的な治療が行われています。しかし何と言っても他には無いこの病院の特徴は各科の間の壁が低くアットホームな医局にあると言えます。毎週金曜日に全科合同の救急症例カンファを行い、救急症例でひやりとした症例や、示唆に富む症例、診断や治療に難渋している症例を発表し、得られた教訓を全科で共有しています。他科に気軽に相談できるのは勿論の事、他職種のスタッフとも気軽にコミュニケーションをとることができます。

消化器内科での研修について教えてください！

消化器内科では、外来での初期診療・初期治療、入院での初期治療から専門治療に至るまで上級医との完全ペア体制で診療にあたります。机の上での勉強よりも実際の経験を通して学ぶ方が記憶に残り、実力になるというのが当院の教育方針であり、出来る限り検査や処置にも参加し、その手技を習得できる体制を組んでいます。もちろんそのような研修ができるのはナースを代表とするコメディカルが医師研修に協力的で研修医のみなさんが研修に専念できるからであり、これも当院の大きな特徴と言えます。

研修医にメッセージを！

自分で考えて動ける医師を目指します。専門医人生の中で最も大切な最初の“一歩”をぜひ伊丹病院で！

プロフィール

山梨大学卒業後、大阪大学・市立豊中病院を経て、2006年4月より、市立伊丹病院へ着任。日本緩和医療学会暫定指導医でもあり、企画責任者として厚生労働省の開催指針に基づく「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会」を主催する他、講師として院内外で活躍中。





■ 消化器内科 専攻医 佐竹先生

市立伊丹病院を選んだ理由は？

病院見学の際、教育熱心な先生方が多く、とても雰囲気の良い印象を受けました。救急に関しても、1次・2次の症例数が多く、実際に研修医が診療に携わることができる機会が多いことも魅力的でした。指導医の先生方に恵まれていること、病院の雰囲気が良いこと、医師として多くの経験を積めることが、当院を選んだ理由です。

市立伊丹病院を選んでどうでした？

実際に初期研修が始まってからは、医学的な知識もちろんですが、患者さんとのコミュニケーションなど、指導医の先生方や患者さんから学ぶ機会がとても多く、充実した毎日でした。同期や先輩方やコメディカルの方々にも恵まれ、しんどいときもありましたが楽しく研修に取り組むことができました。当院を選んで、本当によかったと思います。

後輩の研修医にメッセージを！

私は消化器内科を専門として1年目ですが、毎日勉強してもまだまだ足りない状況です。また、入院患者さんの主治医になり他科の知識が必要な場面がありますが、そのときに様々な診療科の先生方に相談しやすいというのが、当院の大きな魅力のひとつだと思います。

実力を持った医師になるための環境が当院には揃っています。

ぜひ一度当院に見学にいらしてください！

一緒にがんばっていきましょう！

プロフィール

大阪大学医学部保健学科卒業後、大阪市内の病院で臨床検査技師と勤務。

再度医師を志し退職し、滋賀医科大学に入学。

同大学卒業後、市立伊丹病院にて臨床研修を修了。

2017年4月より、市立伊丹病院消化器内科専攻医





■ 整形外科 専攻医 北原先生

市立伊丹病院を選んだ理由は？

1次ならびに2次救急で救急受入れも多く、症例が豊富であり、自分が担当できる症例が多いことです。初期研修医の時に病院見学をして一つ上の先輩が術者として多くの手術を執刀しているところを目の当たりにして驚きました。初期研修が終わったら、自身の専門科の医師として成長するために、多少忙しくても多くの経験を積むことのできる病院で研修したいと考えていました。市立伊丹病院はまさにそのような環境が整っていると感じたからです。

市立伊丹病院を選んでよかったことは？

非常に仕事をしやすい環境が整っています。整形外科だけでなく、病院全体の雰囲気がとても良く、外の病院で研修を受けていた私でも、すぐにとけこむことができました。病院見学で感じていた通り、日々多くの症例を担当させていただき、やる気に満ち溢れた同期と切磋琢磨しながら、濃い毎日過ごしています。また、病院の先生方が皆さん指導的な雰囲気なので、相談もしやすく、勉強会なども定期的に参加していただき、日々進歩を実感しています。働き始めて感じたことは、充実しているのが仕事面だけでなく、仕事の後に同期や上の先生方、後輩の初期研修医達と楽しく食事に行く時や、イベントにみんなで参加して楽しめることなど、プライベートも充実していることです。この病院を選んで後悔は一切ありません！

後輩の研修医にメッセージを！

私は整形外科を専門として初めの1年目となりますが、毎日勉強しても分からないことだらけです。また、主治医として入院中の患者さんを診療するにあたり、当然内科の知識や他科の知識が必要となります。そういった日々の診療で困った際に、すぐに相談できる雰囲気というのは、何にも代え難いものであると一番に実感しています。この雰囲気の良いは見学に来ていただければ実感できると約束します。是非一度、市立伊丹病院に見学にいらしてください！一緒に頑張りましょう！

プロフィール

長崎大学卒業後、大阪大学医学部附属病院にて臨床研修を修了。
2017年4月より、市立伊丹病院整形外科専攻医





医局にて、後輩の相談にのる兵頭先生

■ アレルギー疾患リウマチ科 専攻医 兵頭先生

市立伊丹病院を選んだ理由は？

子供がいるため、病院選びの条件はまず「子育てと仕事の両立ができる病院」でした。

当院を選んだ理由としては、子育てをしながら仕事をするに関して、部長をはじめ、同僚の理解を得られる環境であったことが大きいです。また当直明けは帰宅できますし、休日の病棟業務は基本的には当直医が行うため、休日がしっかりとれるという職場の制度も魅力的でした。研修については、主治医として色々な症例を任されるため豊富な臨床経験を積むことができ、当院を選んでよかったと感じています。

仕事と子育てとの両立のコツは？

両親や夫など身近な人の理解と協力にとっても助けられています。

また職場の上司や同僚の理解があることも大きいと感じています。

周囲の方々に感謝する日々です。

今、やってみたいことは？

いい季節なので、車で遠くまでドライブに行きたいですね。

後輩の研修医にメッセージを！

当院は二次救急病院なので、内科としてcommonな疾患を多数経験することができます。

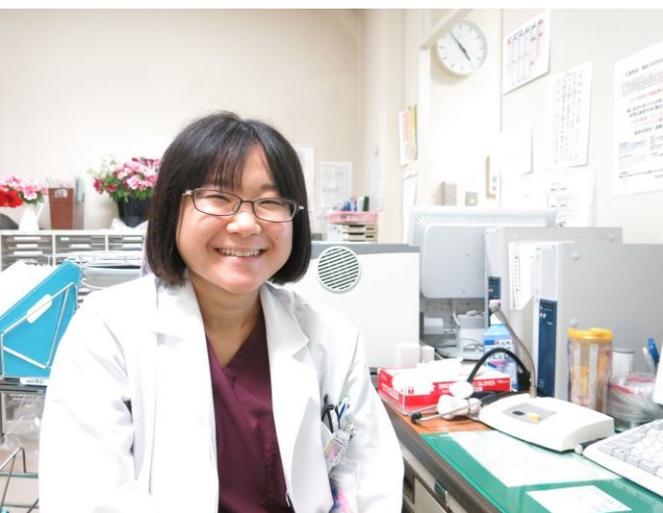
アレルギー科やリウマチ科としては、成人のアナフィラキシー、関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、皮膚筋炎、血管炎などを始め数多くの疾患を経験することができます。

平日は忙しく働き、休日は休息をしっかりとる。オンオフのはっきりした充実した生活を送れる職場です。

是非、一緒に働きましょう。

プロフィール

香川大学卒業後、大阪医科大学附属病院にて臨床研修を修了。
2015年10月より、市立伊丹病院アレルギー疾患リウマチ科専攻医





■呼吸器内科 副医長 高田先生

市立伊丹病院の魅力は？

救急科がない病院にも関わらず年間3000台以上の救急搬送があり、各診療科でお互いに連携、相談しながら患者ニーズにあう医療を展開しています。多数のCommon diseaseを診られることが大きな魅力になると思います。

高田先生のその向上心はどこからくるの？

日々の臨床での疑問解決はその場で行わないと過ぎ去ってしまい、また同じ疑問にぶつかる事になります。今日より明日、診る患者さんに良い医療を提供したいと日々精進しています。

今、やってみたいことは？

人工呼吸器管理や循環管理が必要な重篤な患者さんを診ていきたいです。

後輩の指導で心がけていることは？

普通に本を読んでもなかなか分からない病態生理学が救急や集中治療の中ではモニターを通してわかることがあります。そういった点にも興味を持ってもらえるように指導したいと思っています。



後輩の研修医にメッセージを！

多数のCommon diseaseを診る事で色々な疾患のIllness scriptを形成して下さい。Illness scriptと異なる表現型の疾患は何か隠れています。そんな疾患を見つけるためにもCommon diseaseをたくさん経験して下さい。

プロフィール

神戸大学卒業後、尼崎医療生協病院にて臨床研修を修了。
2009年4月より、市立伊丹病院にて呼吸器内科後期研修を開始、近畿中央胸部疾患センターや県立西宮病院救急救命センターでの勤務を経て、現在、呼吸器内科副医長
ICLSやJMECC（内科系救命講習会）のディレクターとしてコースを開催し、当院の救急医療の底上げに注力している。



■小児科 専攻医 小川先生

なぜ、市立伊丹病院の小児科へ？

まずは広く一般小児が診れるように考えた時に、市立伊丹病院の小児科は患者数も多く、疾患も多岐に渡り、しっかり経験が積めるのではないかと感じたからです。また、初期研修の時に感じたことですが、指導して下さる先生方や看護師・薬剤師の方々も含め職場の方々非常に優しく、また子供達のことを第一に考えるという思いがひしひしと伝わってくる職場の環境であったことも大きな理由です。

新専門医研修のプログラムを教えてください！

市立伊丹病院の場合は大阪大学を基幹病院としたプログラムの関連病院になるので、市立伊丹病院で2～2年半研修したあと、大阪大学で半年～1年間の研修を行います。

専攻医になって変わったことは？

主治医になるということで、周りの先生方に相談させて頂くことは多々ありますが、最終的な治療方針等は自分が決めることとなります。そのことが楽しいと感じる反面、怖さもあり、責任の重大さを痛感しています。試行錯誤の日々です。



これから、やってみたいことは？

将来的には小児神経や重症心身障害者医療に関われればと考えています。

後輩の研修医にメッセージを！

小児科は本当に幅が広く奥も深い学問で、人生をかける価値は十分にあると思います。小児科の道に進もうと考えている、また迷っている研修医の先生方、なにより当院の科の雰囲気の良いことを見学に来て感じてください！お待ちしております！

プロフィール

大阪大学卒業後、市立伊丹病院にて臨床研修を修了。
2017年4月より、市立伊丹病院小児科専攻医



■外科 副医長 澤見先生

市立伊丹病院の外科の魅力は？

当院は、いろんな疾患に対応できる市中病院ならではの魅力の詰まった病院だと思います。

外科では、スタッフ全員に相談できる環境があり、小さな疑問点でも検討を重ねて解決できる協力体制ができているところに魅力を感じます。

どんなことにやりがいを感じていますか？

鏡視下手術を含む悪性腫瘍手術から急性腹症の緊急手術まで、万遍なく主治医として手術を担当出来ます。化学療法や緩和ケアの分野においても、外科では積極的に対応しているため、患者の診断・手術から終末期までの全ての治療過程において関与できることにやりがいを感じています。

後輩指導で心がけていることは？

時間がない時でも質問などをされた際には、なるべく丁寧に返すようにしています。また侵襲的な処置の時にも研修医に声をかけ、いろんな経験ができるように心がけています。



後輩の研修医にメッセージを！

研修医の時期はいろんな事を経験できる大切な期間だと思います。是非、一緒に働きましょう。

プロフィール

近畿大学卒業後、大阪大学医学部附属病院にて臨床研修を修了。大阪府立急性期総合医療センター等を経て、2012年10月より、市立伊丹病院外科副医長



■呼吸器内科 科部長 木下先生

市立伊丹病院の内科の魅力は？

主要な専門内科が揃っていて、中堅クラスの指導医が充実しています。地域の患者さんたちとの距離感も極めて近く、生活密着型の診療が展開できます。日々、診療の中で新しい発見があり、それを多様な患者さんたちが導いてくださいます。

どんなことにやりがいを感じていますか？

患者さんが良くなって喜んでいただけることはもちろんですが、この病院での私達との出会いを良き思い出として、その後の健康維持につなげて下さったら最高です。

研修医への勉強会をたくさんされておられますが、どんな内容をされていますか？

実際にあった症例をもとにした「臨床推論」が中心です。随時必要な医学知識もおりませますが、医学的なものの見方・考え方のトレーニングが中心です。

指導で心がけていることは？

相手の心をつかむために、何か印象的な言葉とか手技を見せたり、聞かせたりして、とにかくもともと持っているはずの医学への関心を開花させたいなあ、と思っています。



研修医にメッセージを！

よい教育とは、全てを教えることではなく、学ぶためのヒントを与えながら、向学心を育て上げることかなと思っています。学びの宝庫である当院にぜひ来てください。

プロフィール

岡山大学卒業後、大阪府の民間病院に勤務。市立堺病院（現・堺市立総合医療センター）藤本卓司先生のもとで総合内科・感染症診療・感染管理を研修し、2008年4月より、市立伊丹病院へ着任。呼吸器内科部長兼感染対策室部長



■ 整形外科 専攻医 栗原先生

市立伊丹病院の整形外科の魅力は？

当院整形外科ではレジデントが主体的となって診療を行うことができます。
具体的には、主治医となって患者様の入院を決定し、術前・手術・術後の診療にあたります。執刀数もかなり多いです。

臨床研修も当院でしたが、専攻医になって変化したことは？

自分にかかる責任は大きく、勉強しなければならないことも多いですが、得られるやりがいは多いです。

これから、どんなことをしたいですか？

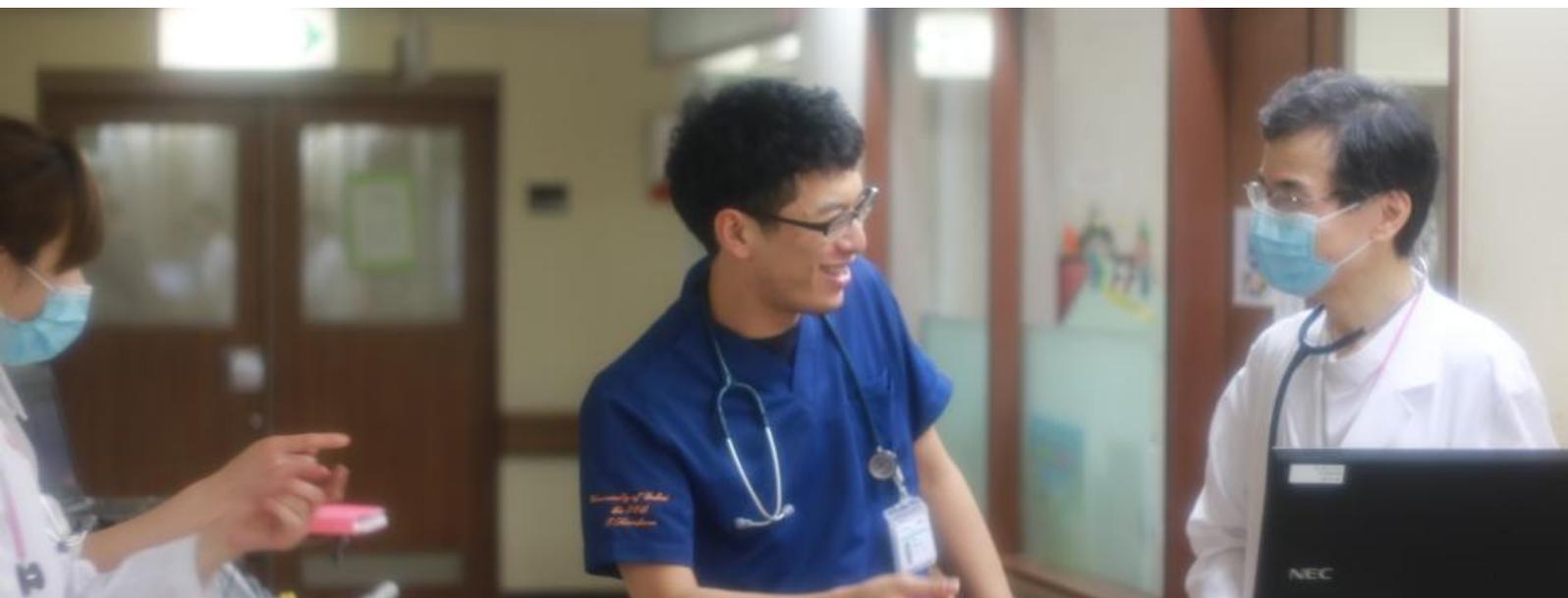
自分本位でなく、患者様に寄り添った診療を行いたいです。

後輩の研修医にメッセージを！

一緒に働けることを楽しみにしています！

プロフィール

福井大学卒業後、市立伊丹病院にて臨床研修を修了。
2017年4月より、市立伊丹病院整形外科専攻医





■呼吸器外科 主任部長 奥村先生

市立伊丹病院の呼吸器外科の魅力は？

定型的な肺がん手術から、気胸、縦隔腫瘍、膿胸、悪性胸膜中皮腫と多種多様な症例が揃っていること、また放射線科や呼吸器内科、アレルギー疾患リウマチ科との共同診療により、大学病院並みにさまざまな合併症を持つ方や、術前の化学放射線治療後の拡大手術などを安心して行えることです。

また、必要とあれば大学病院と連携して手術治療が行え、自分も大学での手術に参加できることです。

専門医研修について、教えてください！

2017年4月から新たな専門医制度が始まりました。これからの呼吸器外科専門医制度は、「いつかはなる」から「いつ頃なる」を次世代に提供することになります。基本領域の外科専門医研修3年+呼吸器外科専門研修3年が伊丹病院内でも相互乗り入れとなり、初期研修の2年を入れて卒後約8年で呼吸器外科専門医取得申請が可能となります。

専攻医への指導で心がけていることは？

上記の専門医取得のために必要な修練を行います。具体的には5年目終了までに定型的な肺がん手術の執刀医がこなせるように、手術手技の習得だけでなく治療方針の立案も出来る骨太の外科医を育てる。



呼吸器外科医を目指す専攻医にメッセージを！

エビデンスに基づいた医療を行うことが原則です。が、もっと大事なことは患者さんや家族の方の“思い”だと私は考えています。

患者さんや家族の希望を、最大限に実現できるように自分の持ちうるすべてを駆使して治療にあたる、というのが私の基本方針です。熱い思いを持った若い先生を心待ちにしています。

プロフィール

兵庫医科大学卒業後、同大学胸部外科へ入局。

大学病院などで心臓血管外科／呼吸器外科の修練を積む。

2010年4月より市立伊丹病院へ着任、呼吸器外科を立ち上げた。



■ 脳神経外科 主任部長 二宮先生

市立伊丹病院の脳神経外科の特徴は？

一般的な脳神経外科手術を行い、高度な治療は大阪大学及び関連施設と連携を図っています。兵庫県下唯一のてんかんセンターとして、“てんかん”の内科治療～外科治療を担っています。

体が空いていれば、救急の依頼をいつでも受けます。

二宮先生にとって、脳神経外科の魅力は？

神経疾患は、画像診断、脳機能、生理学、解剖の理解が必要です。外科的アプローチはその理解を早める近道です。研究として研鑽するのも、救急を扱いドラマチックな展開を経験するのも、いずれでも可能な診療科です。静と動、いずれも満足できるのが魅力だと思います。

臨床研修医への指導で心がけていることは？

指導医が時間を守る。お昼休みを取る。17時で終わる。神経疾患に興味を持ってもらう。

これからの目標を教えてください！

いつでも信頼されること。



専門医研修について、教えてください！

大阪大学脳神経外科専門医養成プログラムに入ってもらい、当院を含めた関連施設と大学研修を経て専門医試験を受験してもらいます。

研修医にメッセージを！

当院では、独りになることはありません。どんな時でも、サポートが入ります。わからないことがあれば、困っている顔をするとお節介が入ります。これが当院で学べる最も良い点です。

プロフィール

大阪大学卒業後、市立堺病院等での勤務を経て、2013年4月より、市立伊丹病院へ着任。それまで休止していた脳神経外科の再開に注力。



■ 診療部長 三木先生（小児科主任部長）

市立伊丹病院 小児科の特徴を教えてください！

将来どの科に進むにせよ、発達過程にある小児の特性を理解し、小児診療に必要な知識・技術を習得することはきわめて大切なことであります。当院小児科の初期臨床研修は、1か月間を予定しています。

当院小児科は地域の中核病院として、感染症をはじめとするcommon diseaseからsubspecialtyを必要とする疾患まで幅広く診療しています。

平成20年4月からは、近隣に阪神北こども急病センターが発足し、夜間・休日の一次救急患者の診療を開始いたしました。当院は二次搬送病院として中心的な役割を果たし、急病センターと緊密な連携を取り合って小児救急患者の対応に当たっています。

小児科学会がキャンペーンしておりますように、当院小児科も出生から大人になるまで子どもたちの健康を守り、地域社会を通じて成育医療を実践しています。

小児科の研修は、主任部長をはじめ小児科専門医資格を持ったスタッフが、マンツーマンで指導いたします。来たれ研修医諸君、市立伊丹病院へ！



専門医研修について教えてください！

当院は小児科学会認定専門医制度研修施設になっており、将来小児科専門医を目指す専攻医（後期研修医）も毎年募集しています。初期臨床研修が済んだ後の3年間を大阪大学小児科と連携したプログラムを作っております。現在他院で研修されている初期研修医の先生方からの応募をお待ちしています。当院小児科は若い先生達の力を必要としています！

プロフィール

2000年4月に市立伊丹病院に着任。2016年より診療部長に昇任。



■呼吸器内科 主任部長 細井先生

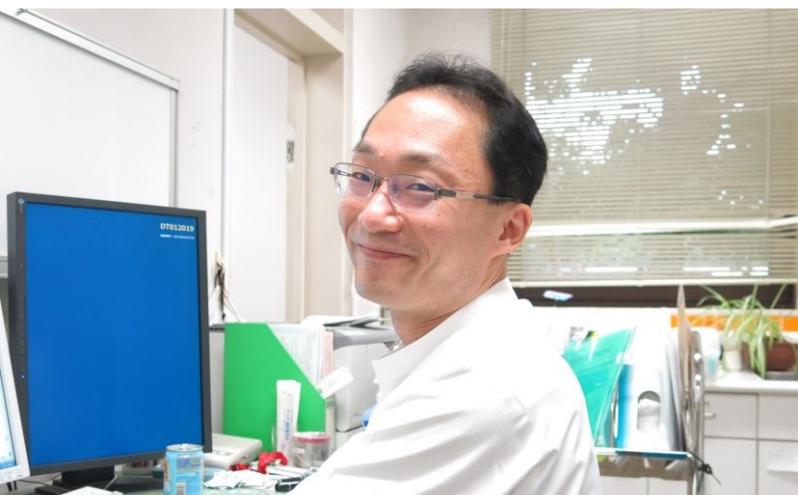
市立伊丹病院 呼吸器内科の特徴を教えてください！

当院の呼吸器内科は伊丹市の中核病院であり、呼吸器感染症・喘息・COPD・間質性肺炎・呼吸不全などの患者が多く搬送されてきます。肺癌の治療にも力を入れており、呼吸器疾患全般の研修が可能です。呼吸不全症例は積極的に非挿管下人工呼吸の導入を行っています。多職種で構成している呼吸療法チームでの回診も行っており、いろんな角度から診ることができます。

指導体制を教えてください！

当科のモットーは「総合内科的な視点でベットサイドでの問診・診察を大切にする」ことです。基本的な問診・診察やグラム染色などを大切に、回診やカンファレンスを通じて教育にも力を注いでいます。スタッフは11名でいつでも指導医に相談できる体制です。勉強会もほぼ毎朝行われており、耳学問で大量の知識を得ることができます。このように、座学で知識をインプットし、救急外来や病棟で実際に患者を診ることでアウトプットし、それを指導医からフィードバックされる体制が整っています。日本内科学会、日本呼吸器学会、日本臨床腫瘍学会の認定施設なので、内科認定医・専門医、呼吸器専門医などの資格も得ることが可能です。

意欲のある若手の医師を求めています。少しでも興味をもたれたら連絡ください。お待ちしております！



プロフィール

2003年6月に市立伊丹病院に着任し、閔副院長と二人三脚で呼吸器内科の立ち上げに尽力。
緩和ケア研修会講師、ICLSやJMECC（内科救急・ICLS講習会）の認定インストラクターとしても活躍中。